

# 鶴が丘だより

年のはじめに  
平成のおわり、そして  
新しい時代に向けて  
院長 後藤晶子

謹んで新春のご挨拶を  
申し上げます。災害の多  
い2018年でしたが、穏やかな晴天で新年を迎えてくれました。その後家族の死で身寄りがなくなり、みるみる内に進行する様子を目の当たりにし、昨年末東京へ引き取る決断を致しました。

◆想像以上の大変さ  
直前に転倒・骨折した  
ため、移動の飛行機は一  
大事でしたが、何より大  
変なのは、今後の生活設計  
です。一体財産がどれ位ある  
のか、それをどの様に使う  
か本人の辛せなのか。  
後見人を付けるか否か、  
それは自分で行うか、専門  
家に委ねるのか。どこで生  
活するか。それは病院か  
施設か。値段も様々です。  
選ぶことはとてもエキ  
ルヤーを使うのです。

◆改めて家族なきあ  
としを切実に考える  
突然日々大変になりま  
したが、こんな時ふと自分  
の心を静かに動かすには何  
かと考えます。それは本  
人の良い思い出、そして

ゴルフのセミアロード、小麦色に日焼けし、昭和40年代から外車のスルーラッカーを乗りましたが、今は、伯母。それが風呂を嫌がり数分前に終えた食事を食べていないと言う姿は、にわかに受け入れ難い悲しみでした。その後家族の死で身寄りがなくなり、みるみる内に進行する様子を目の当たりにし、昨年末東京へ引き取る決断を致しました。

◆入院と新たな気付き  
立場が違うと見える景色も変わるものです。入院時の持ち物が少かり辛く、ハシガーホルダーとあたたかく、該当病棟には安全管理上の観点でフックがなかったこと。飛行機の遅延で迷惑をかけたにも関わらず、部屋に入ると「大変でしたね」との声掛け。スタッフの笑顔に、何よりも癒されることがあります。

今後とも変わらぬ御指導御鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

本年も宜しくお願ひ致します。

△文責・高野

のため後見人申し立てを行、当面鶴が丘にお世話をなる事にしました。

ある日の  
鶴が丘

鶴が丘  
院が開院した1971年より毎月発行している  
広報紙です。

あけまして  
おめでとうございます

いふとなつたら頬赤く  
せき伯父から声をかけられ  
た記憶でした。

「ニニで改めて、家族なき  
あと」の要点は①誰でも  
分かる様、日頃から生活を  
シナフルにしておくこと、  
②いざという時の事を、  
本人、周囲とざっくばらんに  
共有しておること。  
に尽きます。

そして病氣より怖いものは「孤独」。いやという時は、かえって誰にも頼れず孤立してしまうことあります。そんな時は迷わず大声掛け下さい。いつも寄り添える存在でありたい、と二の体験を通じ決意を新たにしました。

◎新梗10年、一一の木林5年

持のための永年勤続対象者  
倍増化 ④ 育児支援「子の  
成長を自分で喜ぶためのお  
祝い制度」等です。職場  
の雰囲気が良いと医療  
事故が減ると、ハーテックモ  
アリ、これらが患者様の満  
足度向上にもつながると確  
信しております。

生き甲斐をもって暮らせる、お手伝いをします。

和には  
。人の心身を癒す才職に、  
誇りと畏れをもって歎きま  
す。  
・患者様の人権を尊重し、努  
力して新しい良質な精神  
医療、看護、福祉を提供

・ニニコ病の人は共に歩み  
安心と安らぎのネットワー  
クを作ります。

## ◎最後に、病院理念

「敬天愛人」の基本理念です。

加えまして、お陰様で当院は  
設立48年を迎えました。翌年  
継ぎ皆様宜しくお願い申上  
げます。

医療法人社団 鶴永会

鶴が丘ガーデンホスピタル

TEL:044-988-3121

東京都町田市三輪緑山 2-2133-1

長津田いこいの森診療所

TEL : 045-507-7656

神奈川県横浜市緑区馬込田4-11-14

現在、インフルエンザをはじめとする感染症が流行しております。当院では安全のため、マスク着用をお願いいたします。ご理解してお願意しくお協力ください。

## 「面会の皆様へ

背伸びは  
長くつづかない

物はためしだ  
何でもやうう

いろはカルタ

今月の